

「自分自身、またはそこにある」人の心・立・立つ・なりたつ」という質問に「当てはまる」「どちらかといえは、当てはまる」と答えた児童生徒の割合は、小学校と中学校とも上昇している。

これは、学校の教育活動全体を通じて、子どもたちが知識や技能を習得する、関心から認めらるりする環境の醸成と、子どもたちの自己有用感が醸成されるという考えのもと、子どもが積極的に取り組む姿勢の表れであると考へています。

今後も、各中学校の特色を生かして、学校の活動ととも、学校・家庭・地域が連携しながら、子どもの思いを受け、子どもが主体となって活躍できる環境を醸成し、学校生活の充実を図ります。